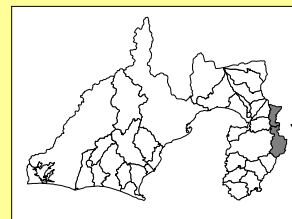


1.1 熱海伊東保健医療圏肝炎対策推進計画

- 総人口：103,117人（2021年4月1日現在）
（男性48,102人 女性55,015人）
- 高齢化率 44.8%（2021年4月1日現在）
- 出生率 3.8（人口千対）（2018年）
- 面積 185.65 k㎡（県面積の約2.4%）
- 管内の特徴



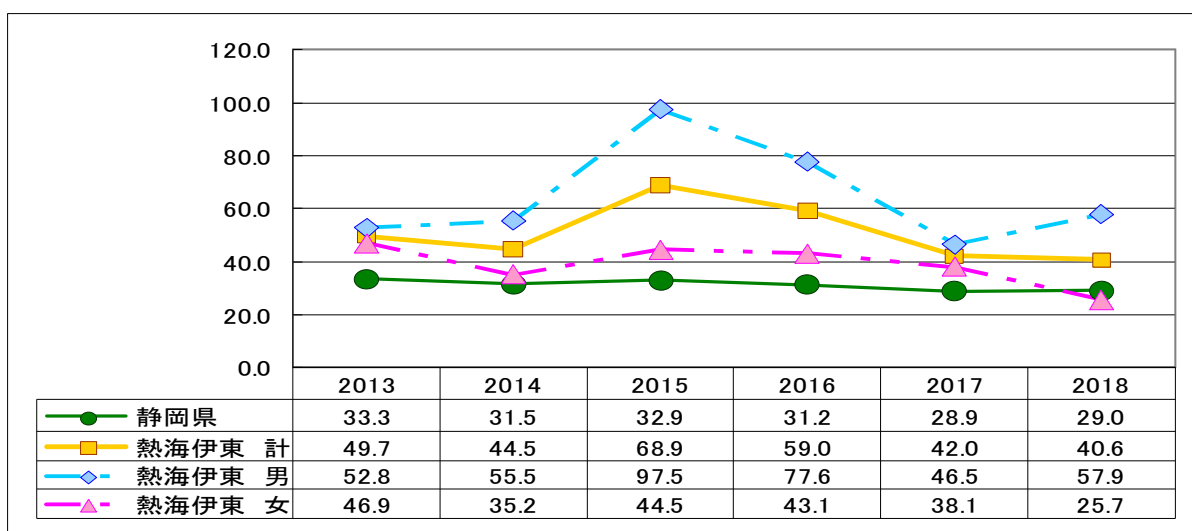
伊豆半島東海岸基部に位置し、東は相模湾に面し、北部から西部にかけては、箱根山系、天城山系の山並みに覆われた熱海市（沖合12kmに周囲4kmの県下唯一の離島である初島含む）、伊東市からなっています。

温暖な気候と風光明媚な自然、豊富な温泉の湧出等を背景に、国際的な観光温泉文化都市として発展し、飲食店、宿泊業を始めとする第三次産業就業者の割合が高い地域です。

ア 現状と課題

- ・当圏域の肝疾患死亡率は、県平均より高い状況にあります。
- ・圏域の専門治療を担う医療機関として、3病院を地域肝疾患診療連携拠点病院に指定しています。
- ・自覚症状のない感染者を発見し、早期に適切な治療に結びつけるため、引き続き肝炎ウイルス検査の受検と検査陽性者には定期的・継続的に受診を勧奨する必要があります。
- ・肝炎患者等が安心して身近な医療機関を受診し、必要に応じて拠点病院等での適切な治療に結びつけられるよう、地域における肝炎診療ネットワークを構築する必要があります。

図5-3 熱海伊東保健医療圏域の肝疾患死亡率の推移（人口10万人対）



出典：静岡県人口動態統計のうち、「O1400 ウイルス肝炎」、「O2106 肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「11301 肝硬変（アルコール性を除く）」を掲出

死亡率は静岡県人口推計（各年の10月1日現在）の推計人口から10万人あたりの死亡率（死亡者数）を算出

イ 圏域の取組

- ① 肝炎に関する正しい知識の普及と新規感染予防の推進
 - 熱海保健所情報誌「湯けむり」、地元新聞への記事掲載等により県民の肝炎の病態や感染経路等の理解を深め、肝炎に関する偏見や差別を解消するとともに新規の感染予防を推進します。
 - 市健康づくり担当課や職域保健従事者等と連携し、各種健（検）診の機会を活用し、生活習慣病予防対策と併せて上記の取り組みを実施します。
 - 思春期講座等の機会を活用し、感染予防のための知識の普及を行います。
- ② 肝炎ウイルス検査の受検勧奨と検査陽性者に対する受診勧奨
 - 市広報及び健康福祉センターホームページに、市・県・県委託医療機関で実施する肝炎ウイルス検査の日程を掲載する等、様々な媒体を通じて肝炎ウイルス検査を周知します。
 - 市及び保健所における肝炎ウイルス検査陽性者が、適切な医療につながるよう、それぞれにおいて専門医療機関への紹介による受診勧奨を行うとともに、定期的・継続的な受診に向けたフォローアップを行います。
 - 日本肝炎デー・肝臓週間にあわせ、街頭キャンペーン等により肝炎ウイルス検査受検の啓発活動を行います。
 - 市健康まつり等の各種イベントにおいて、ポスターの掲示やリーフレットの配布等により、肝炎ウイルス検査受検の啓発活動を行います。
- ③ 肝炎医療を提供する体制の確保
 - 県肝疾患診療連携拠点病院等連携連絡協議会等に参加し、静岡県肝疾患診療連携拠点病院や地域肝疾患診療連携拠点病院との連携強化を図ります。
 - 肝炎患者等が身近な医療機関で適切な医療を受けられるよう、肝疾患かかりつけ医研修受講率の向上を目指します。
- ④ 肝炎患者等及びその家族に対する支援の充実
 - 県肝疾患診療連携拠点病院等と肝疾患かかりつけ医による肝臓病手帳の活用等を通じて、病診の連携推進を図ります。
 - 患者等及びその家族を対象に、医療相談・交流会を開催します。
 - 肝炎医療費助成申請者等から相談があった際に、適切な情報提供・支援を行います。